

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA久留米校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が安心して利用できている、毎回とても利用を楽しみにしているという声をいただいております。	お子様が安心して過ごせるよう、職員は気持ちに寄り添い、温かく受容的な態度で関わっております。また、お子様一人ひとりの発達段階や個別支援計画に合わせて、スマートルステップで成功体験を積んでいきながら、「できた」「頑張った」と実感できるような活動を用意しております。そのような取り組みがお子様の自己肯定感を高め、自信につながり、楽しく利用することにこだわっています。また保護者様には日々の支援報告を丁寧にを行い、お子さまの成長を共有しております。	子ども達の好奇心や挑戦意欲を大切に、今後も支援を行なってまいります。また、お子様の様子を保護者様にも詳しくお伝えし、安心してご利用いただけるように今後も努めてまいります。
2	日頃から保護者様と連絡を取り合い、お子様の健康や発達の状況、課題について共通理解がでてあります。	日々の支援報告時に、支援内容・お子様のご様子について保護者様に丁寧にお伝えしており、視覚的にも分かりやすいよう、画像を活用しております。また、体調不良などの異変があった場合には、すぐに保護者様にご連絡しております。園行事などによるお子様の気持ちの変化についても、保護者様や幼稚園・保育所と密に連絡を取り合い、情報共有を行っております。	今後も継続して、保護者様や関係機関との連絡を取り合い、お子様一人ひとりの発達の状況や課題に沿った支援を徹底してまいります。また、必要なご家庭には定期的な面談以外にも相談の機会を提案しながら、きめ細やかな対応とニーズに合わせた支援の充実に努めてまいります。
3	お子様のことを十分に理解し、特性に応じた専門性のある支援を提供しております。	保育士や心理指導担当職員、教員、理学療法士など様々な専門性を有した職員を配置しており、それぞれの専門性を活かした活動を実施しております。また、毎月の社内研修や外部講師による階層別研修を通して、職員一人一人が専門性を高めるように努めています。	それぞれの専門性を活かしながら、お子様一人ひとりの課題について話し合い、連携して取り組んでまいります。職員一人一人、事業所全体での支援の質の向上に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関して、各マニュアルを作成しており、保護者様に防災訓練の実施についてもお伝えしておりますが、具体的な内容が伝わっていない部分がありました。	毎月の防災訓練の内容をおたよりを通して伝えているが、実施後の報告、訓練中の児童の様子等を保護者様に詳しくお伝えできていなかったことが要因であると考えます。	防災訓練実施の事前報告だけでなく、実施後の保護者様への共有、写真や動画を用いて説明することで、防災訓練の実施が周知されるように努めます。また、InstagramなどのSNSを活用しながら、情報発信に努めてまいります。
2	地域の児童との交流について、「分からない」というご意見が見受けられました。	日頃から公共施設や公園などを利用し、地域の方と関わる機会を設けておりますが、保護者様にそのご様子が伝わりづらい状況であったことが要因だと考えております。	今後も地域の社会資源を活用しながら、地域のお子様とも関わる機会を設けてまいります。また、户外活動でのお子様の様子をより分かりやすく伝えることができるよう写真や動画、InstagramなどのSNSを活用して、発信してまいります。
3			